庄内さくら学園での 新たな公民分館活動にむけて

野田·島田·庄内 3公民分館 令和6年2月17日

1. 昨年度発表の振り返り

令和4年9月3日発表 「庄内さくら学園開校に伴う今後の分館活動のあり方について」



これらを踏まえて



〇現状分析

3分館を1分館に統合した場合

地域世帯数が3倍 巨大組織に

それぞれの歴史や 風土が異なる不安感

分館行事への参加 減少への懸念

何よりもどのような手順で統合できるのか妙案がない・・

○基本的な方向性

市の基本姿勢・・・・・ 基本的に各分館の意思を尊重。

開校にあたり統合ありきではない。

合同開催等の可能性を模索し、順次統合に向けて調整を図ってはどうかとの 提案あり

〇方向性に基づいた課題

活動内容と活動場所

共通行事(文化祭や体育祭)と独自行事 開催頻度など

各育成グループ活動の今後

育成グループは行事運営には欠かせない重要な存在 活動場所の減少により育成グループ側のメリットがなくなる

〇分館活動への影響

そもそも野田、島田に関しては小学校がなくなる

- 分館が統合されない場合は、地域と学校との地理的距離以上に心の距離が遠くなるのでは?
- 各育成グループと分館行事の関係

○3分館懇談会の実施

テーマ 「庄内さくら学園開校に伴う分館活動について」

それぞれの立場で自らの考え方や意見を忌憚なく述べてもらう。

○懇談会の主な意見

- 市の方針を示して欲しい
- PTAと子どもたちを旧の区域で区別することは時代に逆行するのでは?
- 3分館が残っても活動拠点がなくなる
- 若い人が積極的に参加できる体制づくりと役員の若返りの推進が大事
- 自治会組織が解散し、活動できないところもある。加入世帯も減少している
- 育成グループも練習場所の減少は存続の危機。分館所属のメリットもなくなる

3. 方向性の決定

現状や課題などから

従来通りの3分館体制で活動続けていくことは難しく

1つの公民分館として 進めていく方向とする

3. 方向性の決定

2023年 2月 「庄内さくら学園公民分館設立準備委員会」 立ち上げ

1. 設置する組織名称 庄内さくら学園公民分館(案)

3. 設立準備委員会の構成 各分館(庄内、野田、島田)の役員から 各10名

4. 新分館設立に向けて

3分館で合同に行う行事を考えるも・・・・

「体育祭」や「文化祭」といったこれまでの大きな分館行事は

実施時期、実施内容は分館ごとにバラバラ・・

4. 新分館設立に向けて

そもそも担い手の不足で体力的にも厳しい・・・。

新たな担い手となる人材の発掘も兼ねて3分館合同での「夏祭り」を企画

夏祭りを開催するため「3分館合同行事実行委員会」を結成

【メンバー】 3公民分館長 地域若手メンバー 各エリア2名 庄内公民館長

5. さくら祭り「夏」

場所:あいさつロード

- 開催時間を11時~15時と短めに設定
- ⇒負担軽減
- 地域団体であれば誰でも出店可能に
- ⇒関わる人を増やす
- ・他のイベントも同時開催
- ⇒単一のイベントではない相乗効果



5. さくら祭り「夏」





5. さくら祭り「夏」

参加団体: 36**団体**

来場者数: 約2,000人

5. ショコラフェスタ2023





従来の公民館まつりに加え

- 産業
- 市民活動団体
- 地域団体など

がコラボできるイベントに変更

ショコラフェスタ11月18日、19日開催

5. ショコラフェスタ2023





ショコラファウンテン





ショコラフェスタ11月18日、19日開催

5. ショコラフェスタ2023

様々なコラボにより

従来の公民館まつり 1日約500人だったが



ショコラフェスタの来場者数は 1日約4,000人

集客はかなり見込めたが周知方法などの課題も残った、、。

○多様なニーズへの対応

地域の多様なニーズに応えるために、公民分館は柔軟性と創造性を 持ってプログラムやサービスを提供する必要がある。市民からの意見 を積極的に取り入れ、時代の変化に合わせたニーズに柔軟に対応す ることが求められます。

〇コミュニティの参画強化

公民分館は地域のコミュニティを活性化させる拠点として重要な 役割を果たします。地域住民の参画意識を高め、自らのアイデア や能力を活かせる場を提供することが求められます。

〇情報発信とアクセスの向上

公民分館は地域の情報発信やコミュニケーションの場でもあります。 情報の発信手段やアクセスの向上を図り、より多くの住民が 公民分館のプログラムやサービスに参加できることが求められている

〇地域との連携強化

公民分館は地域のさまざまな団体や機関との連携を強化することが重要です。

地域の学校、福祉施設、文化団体、NPOなどとの協力関係を築き、地域全体での取り組みやイベントの企画・実施に取り組むことが求められます。

7. (仮称) 庄内さくら公民分館の目指す姿

背景から考える活動内容(案)

- ○地域住民全戸への情報発信
- ・情報誌の定期発行(2か月に1回程度)
- SNSとホームページ開設(アーカイブを残す)
- 〇学校、ショコラとコラボしたイベント開催
- ・新たな主体とも関わるイベントの実施

夏まつり 文化祭など ご清聴ありがとうございました